



## 北齋の植物図鑑

Hokusai's Botanical Atlas

2024年9月4日（水） - 2024年11月10日（日）

桜、朝顔、菊、四季を彩る様々な植物たち。北齋が描いた植物の絵は、線一本で描いたシンプルなものから、線や色を重ねて細密に仕上げたものまで作品によって様々な表情を見せてくれます。本展では、北齋が描いた植物の絵で展示室を埋め尽くし「北齋の植物図鑑」と題して、草木、花の世界をお楽しみいただきます。その中で北齋が得意とした筆づかいや様々な描法、独特な表現もご紹介いたします。晩年北齋が過ごした小布施は、緑豊かで華やかな花の町でもあります。そんな小布施で植物の世界を存分にお楽しみください。

北齋館が所蔵する作品の中から植物が描かれたものを選び、種類や特徴を「図鑑」のようにまとめました。北齋が描いた植物の数は大変多く、その数はなんと100種類以上にものぼります。植物といっても千差万別で、草木や花はもちろん、大根や芋、梅にりんごなど野菜や果物も含まれます。カエデやイチョウ、バラ、松の葉などあらゆる形の葉っぱもまとめられており、いかに北齋が様々な形の葉に興味を抱いていたかも伺えます。

当時江戸の人々に好まれた植物や、現代の私たちにも親しみのあるおなじみの植物は、北齋の目にどのように写り、どのように描かれたのでしょうか。図鑑のページをめくるように、じっくりとお楽しみください。

## | 見どころ ① |

花の町・小布施では古くから「巴錦」と呼ばれる菊の栽培が行われてきました。北斎はこの巴錦を作品の中に残しています。肉筆作品の「菊」には、数種類の菊が咲き乱れ、艶やかな色彩や繊細な筆づかいにより生命力豊かに咲き誇る姿が見事に表現されています。



「菊」双幅



「桔梗」



富嶽三十六景「品川御殿山花見」



## 見どころ ②

版本の中にもたくさんの植物が登場がします。見開きのページいっぱいに描かれた植物は、本物の質感やみずみずしさが想像できるほど、一つ一つ特徴を捉え描かれています。よく知るものもあれば、見たことの無い植物もあるかもしれません。そんな時は、展示作品のキャプション隣の解説欄をご覧ください。植物の種類や特徴を記載しました。日本独自の植物の親しみ方や、江戸時代から好まれている草木など新しい発見があるかもしれません。



『北斎漫画』二編「菊・木蓮・立葵・馬蘭・草藤」



『北斎漫画』十三編「さまざまな花」



『北斎漫画』八編「三角草・黒百合」



『北斎漫画』七編「秋田の露」



『北斎漫画』  
三編「いろいろな葉っぱ」

## | 見どころ ③ |

北斎が手本となって、絵を学ぶものたちに分かりやすく描き方を紹介した版本があります。弟子や多くの絵師たちはそれを参考にしたと言われていています。今企画展では北斎に影響された絵師たちの作品もご覧いただけます。彼らたちが題材にした植物の魅力や北斎作品との比較もどうぞお楽しみ下さい。

### 関連イベント ○ 学芸員によるギャラリートーク

#### ○ ワークショップ

押し花作家 跡部由美子さんによる押し花作品を作るワークショップを  
**10月19日(土)・10月26日(土)**に開催予定。

※詳細は公式HP (<https://hokusai-kan.com/>) トップページのイベント情報にてご確認ください。

### 開催概要

会期：2024年9月4日(水)～11月10日(日)

会場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

開館時間：午前9時～午後5時 ※ご入館受付は閉館30分前まで

休館日：会期中無休

入館料：大人1,000円、高校生500円、小中学生300円、小学生未満 無料

### ○ 北斎館について

葛飾北斎が描いた肉筆画60余点を収蔵、季節ごとの企画展で展示し、80歳を超えた晩年に信州小布施で描いた東町・上町の祭屋台天井絵「龍」「鳳凰」、「男浪」「女浪」は、常設展示されています。ご来館の皆様には、ワンフロアで映像ホール、第一・二展示室（企画展示室）、第三展示室（肉筆展示室）、第四展示室（祭屋台展示室）をご観覧いただくことができます。ぜひこの機会にご来館ください。



祭屋台展示室

### お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（広報：飯塚）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: [pr@hokusai-kan.com](mailto:pr@hokusai-kan.com)



[hokusai-kan.com](http://hokusai-kan.com)

